

さんぽく南・さんぽく北小学校統合合同検討会（第3回）会議録（要旨）

【11/2 さんぽく会館】

参集者：29名

小学校PTA代表17名、保育園父母の会代表4名、区長連絡協議会役員4名、学校4名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・検討事項
- ・今後について

- 参加者 北小学校の見学に参加したが、校舎は老朽化している印象を受けた。一緒に参加した子どもも南小学校の方が適しているというとらえだ。
- 参加者 北小学校は教室の狭さ、廊下の狭さ、教室の老朽化が目立った。
- 参加者 立地条件では中学校を併設した北の方がいい。木造校舎は耐用年数面と構造上手入れしにくい部分があるのでそれらが課題になると思う。
- 参加者 北小学校は大きな道路からは離れており安全。中学校との距離近く、今後生徒児童が減っていくことを考えると小中一緒の場所が良い。
- 参加者 廃校校舎の利用計画はあるのか。山北中学校の部活施設に利用ということで北小学校の体育館を使ったらいかがか。
- 教委 廃校舎利用については、場所が決まった段階で行政、地域住民、各種団体等で検討委員会等をもって進めていきたい。
- 参加者 校舎の比較では甲乙つけがたい。南小は冷暖房設備では良いが、体育館は狭い。2階の窓からすぐ下が見えて、安全の意味で不安なところがある。
- 参加者 南小は校舎周りに開放感がなくて圧迫感がある印象だ。今後保育園も一緒になるという点を考えて、保育園、小学校、中学校が近くにあった方が、子どもたちの交流も大人も楽なのではないか。
- 参加者 全体の小学校の教育ということよりも、場所の問題で良い悪いということしか聞こえてこない。さまざまなことを考えながら検討していくというのが教育の立場ではないか。有識者の意見もよく参考にしながら物事を考えていきたい。
- 参加者 双方メリットデメリットというものはあるわけで、そういったことを見据えた中で比較していかなければならない。将来の山北地域の在り方を念頭に比較検討材料があればいいのではないか。今まで出てきた論点を整理していく段階なのではないか。
- 参加者 資料のスクールバス運行計画案は統合小学校の話が本格化していく場合は、運行計画が変わっていくことは可能か。
- 教委 それはあり得る。
- 参加者 目安となる時間は既存の運行のコースに基づいているのか。
- 教委 学校がどちらかに決まれば、効率的な運行経路を考えていかなければならないが、現時点のものがベースになっている。
- 参加者 保育園等施設整備計画案の中で保育園、学童保育所の統合計画が出されている。南小学校を統合校舎とした場合には、はまゆり学童保育所が狭いという現状から、おおぞら保育園を学童保育所とし、にじいる保育園が統合保育園という考え方がベター。逆に北小学校を統合校舎と考えると、はまゆり学童保育所は老朽化しているので学童保育所ににじいる保育園とすると、保育園はおおぞら保育園となる。だが、おおぞら保育園は高速道路のアクセスの真ん前であり、うまくないのではないか。そのように考えた場合、南小学校を統合小学校とした方がトータル的にはいいと思う。

- 参加者 やまゆり学童保育所は老朽化しているというが、今現在増改築して使っているの、広さのあるやまゆりを整えれば、北小学校の方に統合しても問題ないのではないかな。
- 参加者 保育園から中学校までそれぞれの発達段階があって分かれている。小学生と保育園が一緒だと良いようだが、そうではないから別々に作っている。漠然とやっていると、何回集まっても最後には対立となる。妥当な線でいかなければならない。もう少し効率よくなるような話し合いの方法を見つけてもらいたい。
- 教委 子どもたちの今置かれている両校の現状が一番大切であり、一刻も早く解消すべきだ。校舎使用の決定が遅れると、両校にとって不利益な状況が続くことになる。また、地域において学校というのは大きな意味合いがあり、山北地域の両地区の平等な発展、均衡あるバランスをとるため、子どもが地域に見えるということも必要ではないかと思う。
- 参加者 今年度中にある程度の方向付けをしたいというのは分かるが、拙速に進むべきではない。この辺で論点を整理していくべきで、北小学校と南小学校保護者で作業部会を作ってはどうか。
- 教委 何が使用校舎を決める一番の要素になるのかがはっきりしないと、論点を上げて結局決まらない。
- 参加者 どうやっても意見はまとまらないと思う。有識者の意見というのを重く受け止めた方がいい。
- 参加者 保育園の保護者、地域の方も抜けて、両校での話し合いで決めるということか。
- 参加者 統合後同じ学校の保護者になるので、意志の疎通を図りつつお互いに納得していくには同じ汗をかいた方がいいのではないかな。
- 参加者 このままだと第4回の検討会もあまり進展しないのではないかな。論点を整理し、材料を出し合って比較対象をやっていく時期ではないかな。
- 参加者 統合校舎の場所、空き校舎をどうするかという問題は地域の方々も心配だ。南にも北にも甲乙つけがたいくらい長所もあり短所もあると、決め手として現在の子どもの数、今後の児童生徒といったことを考えるべき。
- 参加者 通学人口動向も大いなる判断材料になる。それを一覧表にする作業が必要なのではないかな。
- 教委 今まで出た話を整理し、住民も保護者にも説明できるようにし、その上で教育委員会の考えを言ってくれと。そういう風に今進んでいるところもある。論点整理しまとめることはできるが、何が一番の判断の基準になるのかを納得していただくか、両方に納得していただくことはできないと思う。何とか飲み込んでいただく、そのための論点整理なら教育委員会でまとめて提案したい。
- 参加者 いずれか一つを優先して校舎を決定することが困難なことは、参加者は承知されている。だから整理したものが必要だ。第4回はそういう検討会の時期に来ているのではないかな。
- 教委 それぞれ学校に持ち帰って、評価してもらおうということは可能か。
- 参加者 大いにやるべきだと思う。まだ出ていない判断材料がある場合はそれについても提出してもらおうべき。
- 参加者 統合するこの時期をプラスと考えて、山北地区で小中一貫校の新しいモデルケースを考えてもいいのではないかな。
- 教委 現在、小中一貫の学校というのは構想していない。将来的に、校舎が別々でも小中一貫のスタイルはある。10年、20年先を見越して話し合っていて決まらなないと、子どもらにとって望ましくない環境が続くことになる。校舎を決める時にどういう要素が一番大事なのか考えてもらえないかな。

- 参加者 国勢調査によるとこの20年間で山北地区では子どもの数が60%減少している。今後の20年を考えればもっと加速していくはず。複式は今解消されても、この先また陥ってくるのは目に見えてくる。優先されるべきは子どもたちだ。また5年後また10年後こういった会議を開かなくてもいいような、先を見据えて話をしたい。
- 参加者 本当にほかに検討することがないのか、ということを検討する機会があってもいいと思う。
- 教委 両方のPTAで論点を検討し、報告を出していただきたいがいかがか。
- 参加者 どういった評価の仕方なのか、理解できていないので学校に持って行きづらい。
- 参加者 保育園、学童保育所の今後の統合のことも含めて考えることはできないのか。小学校だけどちらの校舎というところだけ詰めていかなければならないのか。
- 教委 保育園、学童保育所は福祉課の所管だが、統合について具体的な計画は出ていないと思う。学校統合を見据えて考えると、もう2～3年は考えられないのではないか。
- 参加者 有識者の意見も一つの判断材料ととらえている。統合小学校も今後の人口データによると将来複式学級ができてしまうが、その場合にも旧市町村をまたいでの統合校は作らないという考え方で良いか。
- 教委 現在の望ましい教育環境整備計画では原則として考えていない。将来的には可能性はある。31年統合を目途とすると、30年には複式解消の加配教員の配置が必要であり、そのためには来年の今頃には統合、使用校舎、校名の正式決定が必要。次回論点整理を行って一歩先に進められるのか。
- 参加者 3回の検討会の中でいろいろな資料を出してもらい、進捗率は十分良いと思っている。
- 参加者 論点を出すことはいいことだが、重要度も鑑みて判断が必要。
- 参加者 出していただいた項目を重要度も含めて皆さんで検討したい。
- 教委 各PTAは学校を通じて今月中に項目を報告していただく。また保育園父母の会、区長さんにもお出しいただきたい。資料の整理ができれば第4回の会議を開催するということで、ご協力をお願いしたい。
- 参加者 出席者了解する。
- ・閉会